

JAPAN NOW

観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報 第55号（総会特集） 発行日2008年5月27日

Contents

JN協会第7回通常総会	1
7年間の歩み、活動記録	2
7年間の歩み、活動記録	3
丸山副理事長寄稿、会員名簿	4

巻頭言

JN協会 発足8周年記念のフォーラム

「魅力ある都市圏と観光・環境交流」

パネラーは、西阪、須田、梅原、魚住、分家氏

JAPAN NOW観光情報協会（松尾理事長）は、発足8周年を記念して5月27日午後2時から東京の日本プレスセンター10階ホールで定時総会及びフォーラム「魅力ある都市圏と観光・環境交流」（観光立国サミットin 東京）を開く。

JN協会は「都市再生・観光振興・環境保全」を活動目的にしているため、今回のフォーラムでは住みよい都市づくりと、観光や環境交流について国土交通省の西阪・大臣官房審議官、須田・JN協会中部支部長、梅原・JN協会四国支部長、魚住・JN協会北陸支部長、JN協会理事の分家・富山県射水市長がパネラーとなり、各地域の現状を分析して魅力ある都市圏と観光・環境交流に向けた取り組みを示し政府などに提言する。丸森東北支部長は紙上参加。

総会及びフォーラム参加は無料。

昨年の総会後の講演会は、**06年度の総会** 渡辺行政改革担当大臣が、「国家公務員の天下り規制」について講演し、約160人が参加して盛況だったが、今年も150人前後の参加を期待している。

また、会場では須田中部支部長（JR協会副理事長）が編集責任者となって最近刊行した「産業観光100選」が参加者に無料進呈される。午後5時30分から10階ホールでパネリストを囲んで立食懇親会が開かれるので、ご参加を。懇親会費は一人3000円。



JN協会の総会会場となる「プレスセンタービル」。日比谷公園と道路を隔てて建っている。1976年完成当時は、周りに高層ビルがなく、目立つ建物だった。日本記者クラブなど、新聞関係機関、ジャーナリスト事務所などが入っている。

福岡で7月にフォーラム

「大九州圏の経済と観光活性化」

JN協会は27日の総会で、平成20年度の事業計画を決める。

主な事業は7月14日福岡市で「大九州圏の経済と観光活性化」（観光立国フォーラムin福岡）を開き、3人の講師が九州新幹線の全線開業、九州圏の観光振興策などを講演する。

9月には金沢市で郷土発展振興会との共催でイベント、10月には神戸大学で、11月には札幌市で第4回「21世紀は大北海道圏の時代」を開く。

また、東京で毎月開いている「観光セミナー」も継続し、情報紙「JAPAN NOW」やJN協会ホームページによる情報発信を強化する。

JN協会7年の歩み

2001年4月発足したJAPAN NOW観光情報協会は、8年目に入り順調に活動を展開しています。

JN協会の活動目的

21世紀は世界的な観光交流が拡大し、「観光の世紀」と言われています。政府も官民一体で振興に取り組んでいます。JAPAN NOW観光情報協会は平成13年4月に「都市再生・観光振興・環境保全」を目的としたNPO法人として石原・東京都知事から認証され、活動しています。日本が観光立国として発展するためには、従来の観光振興だけでは限界があり都市の再生、活性化による地域経済の振興や環境保全が必要です。当協会はこの理念のもと活動を展開しています。

JN支部の設立

- ・新宿支部(2001年4月、片山文彦・花園神社宮司が支部長)
- ・北陸支部(2002年10月、水野卓哉・北陸鉄道会長が支部長)
- ・立教支部(2003年12月、支部長は学生会員の持ち回り)
- ・九州支部(2004年3月、長尾亜夫・西日本鉄道社長が支部長)
- ・中部支部(2004年7月、須田寛・JR東海会長 = 当時 = が支部長)
- ・神戸支部(2005年3月、岩田弘三・神戸商工会議所副会頭が支部長)
- ・北海道支部(2005年11月、JR北海道会長の坂本眞一氏が支部長)
- ・四国支部(2006年4月14日、JR四国会長の梅原利之氏が支部長定)
- ・東北支部(2007年4月、仙台商議所会頭の丸森仲伍氏が支部長)
- ・中国支部(2007年9月21日、広島電鉄社長の太田哲哉氏が支部長)



写真(発足メンバー)

JN協会の活動実績(講演会)

- 第1回:「国際観光を楽しむ」平成13年10月22日(月) 基調講演:向山秀昭氏(国際観光振興会長)
- 第2回:「都市の活性化と国際観光」平成14年1月31日(木)
講演者:須田寛氏(東海旅客鉄道会長)、カトリーヌ・オーデン氏(フランス政府観光局長)
- 第3回:「都市の交流と国際観光」平成14年5月21日(火) 講演者:羽生次郎氏(国土交通省国土交通審議官)
- 第4回:「北陸新幹線と地域振興」平成14年10月4日(金) 於:金沢市 講演者:松尾道彦氏(鉄道建設公団総裁、当協会副理事長)
- 第5回:「内外経済事情」平成14年11月21日(木) 講演者:渡辺 修氏(日本貿易振興会理事長)
- 第6回:「激動する航空業界の現状と今後」平成15年5月30日(木) 講演者:野村吉三郎氏(全日本空輸会長)
- 第7回:「江戸文化と大道芸」平成15年 8月10日(日) 於:新宿・花園神社 シンポジウムのパネリスト:
片山文彦氏(JN協会新宿支部長)ら4名。
- 第8回:「観光立国と箱根の魅力」平成15年9月4日(木) 基調講演者:中村徹氏(日本観光協会会長)。
討論者:山口昇士(箱根町長)、金澤悟(国土交通省観光部長)、福川伸次(電通顧問)の各氏。
- 第9回:「九州新幹線の開業に向けて」平成16年3月1日(月) 於:ホテル日航福岡 講演者:高山博文氏(鉄道運輸機構九州新幹線建設局長)
- 第10回:「日本経済の再生と観光立国」平成16年5月27日(木) 講演者:福川伸次氏(元通産事務次官)
- 第11回:「中部国際空港の開港と観光交流」および「愛・地球博の成功を目指して」平成16年7月15日(木) 於:名古屋市 講演者:平野幸久氏(中部国際空港会社社長)、
中村利雄氏(万博協会事務総長)
- 第12回:「観光立国と国の安全」平成16年12月16日(木) 講演者:国松孝次氏(元警察庁長官、前スイス大使)
- 第13回:「21世紀は大名古屋圏の時代」平成17年1月25日(火) 於名古屋市・銀行協会ホール 基調講演:福川伸次氏
パネラー:奥野信宏、安原敬裕、須田寛、水尾衣里の各氏
- 第14回:「サッカーと観光立国」平成17年5月24日 講演者:鈴木昌・リーグチェアマン(JN通常会員総会のあと) 於ホテルKKR
- 第15回:「大九州圏観光フォーラム2005」平成17年9月21日(水)。福岡市の西鉄グランドホテルで。渡辺修・ジェット理事長ら5人講師
- 第16回:「21世紀は大北海道圏の時代」平成17年11月08日(火)。講師:電通顧問の福川伸次氏(元通産事務次官)、
照明デザイナーの石井幹子氏、国土交通省総合観光政策審議官の柴田耕介氏ら4人。
- 第17回:「大四国圏の活性化と将来展望」平成18年4月14日(金)。講師:機械産業記念事業財団会長の福川伸次氏ら3人。
- 第18回:「地球規模の観光大交流時代ですよ」平成18年5月19日(金)。第5回会員総会記念講演会。講師:岩村敬・前国土交通省事務次官、マリ・クリスティヌ・異文化コミュニケーター
- 第19回:「大中部圏の広域観光と北陸新幹線の建設」(観光立国フォーラムin金沢)平成18年7月14日(金) = 予定。講師:須田寛(元JR東海会長)、金沢鉄道運輸機構理事(新幹線担当)
- 第20回:「魅力溢れる大中部圏の現状と将来」平成18年7月14日(金)。講師は須田寛・JR東海相談役、金澤博・鉄道運輸機構理事(新幹線担当) 200人参加。翌15日は「かほく市」で、北陸支部主催の講演会(講師・松尾理事長ら4人)120人参加
- 第21回:「第2回・21世紀は大北海道圏の時代」平成18年11月9日。札幌市で。講師は、鈴木久泰・国土交通省航空局長、小川康則・総務省行政課理事官、大多和巖・農林中金総合研究所社長
- 第22回:「食育・動育・心育による町おこし」「港・横浜と観光」平成18年11月28日(火)。講師は、中尾・国交省港湾局長ら。
- 第23回:「新世紀・大東北圏の活力と魅力を探ろう」平成19年4月13日(金)。仙台市で、講師は須田寛・JR東海相談役ら3人。
- 第24回:「白山市シンポジウム」平成19年7月8日(日)。講師はJN協会・松尾理事長、白澤副理事長、加藤参与ら7人。
- 第25回:「大中国圏の活性化と襲来展望」(平成19年9月21日)。講師は、須田寛・JR東海相談役、大野裕夫・国交省海事局次長ら。
- 第26回:「第3回・21世紀は大北海道圏の時代」平成19年11月6日。講師は渡辺修・前JETRO理事長、中尾・国交省港湾局長ら。

JN協会7年の歩み

JN協会の活動実績（見学会）

- 第1回：山梨県都留市の山梨リニア実験センター 平成13年11月8日(木)。
JRマグレブ・リニアカーの試乗会。丹羽理事長以下15名が参加、時速450キロを体験。
- 第2回：東京電力柏崎刈羽原発など。平成14年8月24日(土)、25日(日)
参加者25名。協力：原子力発電技術機構
- 第3回：石川県・能登空港 平成15年7月8日(火)
7月7日開港した能登空港見学。丹羽理事長、水野・北陸支部長ら10名が参加。
- 第4回：都留市リニア実験センター 平成15年10月8日(水)
松尾副理事長や電力、ゼネコン、鉄道などの団体会員ら30名参加。時速500キロを体験。
- 第5回：横浜市みなとみらい線 平成16年1月21日(水)
2月1日開業を前に、丹羽理事長、松尾副理事長ら30名が参加。
- 第6回：九州新幹線(鹿児島中央駅～新八代駅) 平成16年3月1日(月)
3月13日の開業を前に、丹羽理事長、松尾副理事長ら20名が試乗会に参加。
- 第7回：開港前の中部国際空港 平成16年7月15日(木)。松尾理事長ら約20名が参加。
- 第8回：建設が進む神戸空港 平成17年3月17日、松尾理事長ら20名が参加。
- 第9回：開業前の「つくばエクスプレス」試乗会。平成17年7月27日、11名参加。
- 第10回：開業前の「つくばエクスプレス」試乗会。平成17年7月27日、11名参加。
- 第11回：3回目のリニア試乗会。都留市リニア実験センター 平成18年10月27日。
須田寛JR東海相談役が講師となり、松尾理事長らが参加。
- 第12回：4回目のリニア試乗会。平成18年4月27日。約30名参加。
- 第13回：東京コンテナ・ターミナル見学。平成20年1月31日。松尾理事長以下27名参加。



リニア実験線



開港前の中部空港管制塔で

JN協会の活動実績（イベント）

【大道芸シンポ】 2003年8月10日午後5時30分から、江戸開府400年事業に協賛し「市民 手づくりの江戸東京まつり」を、東京・新宿の花園神社で開催。源吾朗さんの大道芸披露、今村昌平監督の映画「ええじゃないか」のさわりを上映、それにまつわる大道芸についてシンポジウムを落語家・古今亭菊輔さんが司会。100人が参加し江戸情緒を楽しんだ。
なお8日には、ロボット博士で有名な橋本周司・早稲田大学教授の講演「ロボットが宗教を変えられるか」が行なわれた。主催は花園神社。

【国際交流】 2004年10月23日、JN協会と富山県新湊市がイタリアのティボリ市長と助役招待、新湊市での「新湊産業海鮮まつり」に参加、保育園児らに迎えらる。真ん中は新湊市長。



2004年10月25日、東京・プレスセンターで「ティボリと新湊の挑戦」と題する国際観光シンポジウムを開催した。マルコ・ヴィンチェツィ・ティボリ市長、分家・新湊市長、須田・JN協会副理事長、鷲頭・国交省観光審議官、大島悦子の各氏が「イタリアの世界遺産都市と観光立国の街づくり」について討論。参加者約150人。

今後とも、海外都市の市長との個言う龍事業を進める予定。

JN協会の活動実績（研究会）

国土交通、旅行、エネルギー問題、都市再生、環境の5研究会を開設。副理事長を座長とし研究活動を実施。
(1)「観光の価値・評価」の研究会 2002年1月25日～2002年11月20日まで9回。(2)「旅と危機管理」セミナー 2003～2004年末で9回。最終回は2004年12月16日、国松孝次元警察庁長官を迎え「観光立国と国の安全」という題で、講演。
(3)「観光立国セミナー」 2004年～2006年実施中。会員だけでなく、関心のある方の参加を歓迎。いずれも、製本しJN協会に保存。会員企業、個人会員の閲覧は御自由どうぞ。

JN協会の活動実績（提言）

JN協会は提言も積極的に行っている。平成14年7月リニア中央新幹線の実用化について小泉首相に提言した。丹羽理事長(当時)は、平成15年1月東京駅周辺に「観光総合案内センター」の開設を、平成15年10月には「江戸城再建」を提言し、話題となった。今後とも研究会活動の成果を踏まえ、積極的に「観光立国」等に関する提言を行う予定である。

外から見たビジット・ジャパン・キャンペーン

丸山 博



私は、国土交通省顧問と運輸政策研究機構国際問題研究所長の二足のわらじを履いている。国際問題研究所長としてはワシントンの事務所に年間100日程度滞在する。国交省顧問としては、ビジット・ジャパン・キャンペーンなどで海外出張する機会も多い。そこで、観光振興策に関連して海外滞在中に感じることを書いてみたい。

ワシントンのケネディセンターではこの2月の日本週間の中で多くの催しが行われた。一番受けていたのは、和服を着、身振りを交えて英語をしゃべる人型のロボットと、トランペットでジャズを一曲演奏しきったロボットだった。フランスでは、日本の

く「カワイイ」服を着た若い女の子を見かけたが、コンテストが行われる程の人気だということ。ところが、同じ服が英国ではまったく受けないとのこと。日本と文化的な繋がりの深い中国・韓国・台湾をみると、中国では、ロボットなどのハイテク・マンガ・アニメ・メイド喫茶などのポップカルチャーが人気があるようだ。韓国だとゴルフと温泉、台湾だと自国で見ることの難しい北海道などの雪景色といったところか。

こうして見てくると、多様な外国人の好みを満足させる魅力が日本にはあふれているということではあるが、一方では、国、地域ごとに異なる日本に対する興味にあわせた木目細かい施策が求められるということであろう。

(丸山氏は次官と同格の国交審議官を退任後、JN協会副理事長にも就任。この文は同氏の原文の短縮版。全文は5月号に)

会員名簿

(敬称略) (個人会員名簿は公開していません)

名誉顧問	松山善三(映画監督)
理事長	松尾道彦(日本海事センター会長、前日本鉄道建設公団総裁)
顧問	丹羽晟(前理事長、日本空港ビルデング顧問)
副理事長	白澤照雄(JN協会事務局長)、岡村進(元小田急トラベル社長)、横山善太(株)JALUX特別顧問、大島慎子(筑波学院大学教授)、小竹直隆(元JTB専務)、須田寛(東海旅客鉄道相談役)、丸山博 = 予定(元国土交通審議官)
支部長	片山文彦(新宿)、魚住隆彰(北陸 = 予定)、麓 理沙(立教 = 予定)、長尾亜夫(九州)、須田寛(中部)、岩田弘三(神戸)、坂本眞一(北海道)、梅原利之(四国)、丸森伸吾(東北)、大田哲哉(中国)

【団体会員】(2008年05月27日現在)

(株)朝日ネット、(株)アドバン、(株)アドルックス、荒井建設(株)、アデス電気(株)、安藤建設(株)、イ・エム・ティー(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、富山県射水市、(株)井六園ワールド、岩田地崎建設(株)、(株)H K エアックス、特定非営利法人「江戸城再建を目指す会」、(株)大林組、隠岐の島町(島根県)、(株)奥村組、小田急建設(株)、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、(株)大塚ハレレジ、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、佐川アドバンス(株)、(株)サマンサタバサジャパンリミテッド、三協立山アルミ(株)、(株)三普旅行社、四国電力(株)、四国旅客鉄道(株)、清水建設(株)、(株)JAL-DFS、(株)JALUX、(株)JTB、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、常興産ビシー(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、静和堂竹内印刷(株)、(株)銭高組、全日本空輸(株)、ハーキングプロ(株)、セントラルリーディングシステム(株)、(株)グアイエーコンサルタンツ、第一交通産業(株)、第一資材(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成サービス(株)、大成設備(株)、大成エレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、(株)高商、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店(株)、丹青社、中国電力(株)、中部電力(株)、ティートレーディング(株)東京支店、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財)東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベーター(株)、東北電力(株)、トヨカネツリソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オース・エレベーター(株)、(株)日本海コンサルタンツ、日本空港ビルデング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財)日本交通文化協会、(社)日本添乗サービス協会、(株)日本プラント建設、(財)日本ホテル教育センター、(株)ニューテック、ネスレ日本(株)、箱根町(神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)日立ビルシステム、(株)日立製作所、(株)ビッグウイング、広島電鉄(株)、福岡空港ビルディング(株)、(株)ハロックジャパンリミテッド、(株)フィールドサービス、(株)フェイテリックホールディングス、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、ブレッツワークス(株)、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルメトロポリタン、前田建設工業(株)、(株)ホテルマリックス、マイナミホールディングス(株)、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)USEN、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、(株)ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

特定非営利活動法人(NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます!

JAPAN NOW

観光情報協会

東京都渋谷区代々木1-58-13
小田急代々木ビル3F

電話 03(5304)9500

FAX 03(5304)5632

E-mail info@japannow.org

Home page http://www.japannow.org

発行人：白澤照雄(JN協会事務局長)

編集長：加納 隆(JN協会理事)

発行部数：3000部 主な配布先：会員、中央官庁、

編集後記

私はJN協会でのフォーラム、講演会、リニアの試乗会などのイベントでは専ら司会進行係りを務めてきたが、昨年から今年5月にかけて東京や金沢で開いた講演会に講師として出席し、司会者とは違った緊張感により弱った脳の活性化をしている。講演のテーマはJR東海が2025年に東京・名古屋間で営業運転する「超電導型リニアモーターカーの実用化の見通し」や最近の新聞、テレビの動向を紹介する「マスメディアあれこれ」、アメリカの金融不安、株安、原油の高騰など複合的な要因で価格が高騰している食糧問題を説明した「どうする、食の安全確保と食糧の供給不安」などなど。JN協会の活動目的である観光や街づくりに関係が深いテーマである。とくに金沢での講演会には大勢の会員が参加し、熱心にメモをとり、質問も多かった。参加者に感謝しつつ次のテーマを考えている。(白澤)